

緑地 1号面・6号面グラウンド設置マニュアル No.1

2011年7月作成

- ・設置を担当するチームは指導者1名以上が立ち会い、周囲に配慮し事故の無いよう行うこと
- ・ネット、杭、工具等はすべて連盟の備品です。使用后すみやかに本部倉庫まで返却すること

-緑地 1号面- 1) 杭を打たずにまずネットを5名以上で広げてみましょう。

～各ネットの長さは30メートルです。(1球場×3枚)

～杭は1球場31本使用します。(11本・10本・10本)



写真①

2) 始点の杭を打ち、ネットを固定しましょう。

～ボールデッドラインと垣根の延長線が始点の位置になります。(写真①)

3) 約3m間隔で垣根に沿って杭を打つポイントを定めます。

～ネット上部の虎ロープに赤テープが巻いてあるので目標にしてください。

～1号面の花壇のところはセンター側の垣根を想定しふくらみをもたせて。



写真②

4) ここではじめて(始点以外の)杭を打ち込んでいきましょう。

～あくまで始点はライト側です。右から決めていきます。

5) 杭はネットが地面に10cm程度余るように打ち込んでください。

～設置したネットからボールが出ては意味がありません。(写真②)



写真③

6) ネットをライト側からたるまないようフックにかける。

～ネットが切れないように虎ロープの部分をフックにかけます。(写真③)

～あくまで杭の打ち込みが優先です。ネットがきちんと張ることができません



写真④

7) ネットの継ぎ目からボールが出ないように。(写真④)

～虎ロープの余分を杭の下部に固定、フックを使用してできるだけ隙間をなく

8) 2枚目・3枚目のネットの設置は1)～6)の手順のくり返しです。

9) 終点の杭の位置はだいたい写真の位置です。(写真⑤)

～始点・終点の杭には黄色い旗を設置します。写真で周囲の風景を確認のこと



写真⑤

10) 設置後、杭・工具等の置き忘れがないか周囲を確認すること。

-緑地6号面-



写真①

1) 1号面と同様、ポールデッドラインと垣根の延長が始点です。
～だいたい写真①の位置になります。始点の杭を打ち込んで設置をスタート。

2) マニュアルNo. 1の2)～8)の手順のくり返しです。
～ネット×3枚、杭×31本も1号面同様です。



写真②

3) 6号面の終点の杭の位置です。
～だいたい写真②の位置になるので確認してください。

-ポールの設置-



写真③

1) 土台の杭を打ち込みます。
～試合を左右するかもしれません。きちんとラインの延長に。(写真③)

2) 打ち込んだ杭にポールを差し込みます。
～きちんと垂直になるように。(写真④)



写真④

-片づけの注意点-



写真⑤

1) ネットの端のチューブの部分を使用してしばります。(写真⑤)

2) 設置した杭を抜くときは小さな円を描きながら抜きます。
～無理に抜こうとすると、杭が曲がってしまうので要注意。